

外語コミュニティーでの外語記念碑設置に関するいくつか の質問に対する委員会としての回答

外語記念碑設置委員長 田中満穂@3・4期

外語卒業生及び関係者の皆様へ：

外語コミュニティー上で外語記念碑設置に関する賛否両論の活発なご意見ありがとうございます。

外語コミュニティーをご覧になっていない方も多数おられると思いますが、以下の説明で現状をご理解いただけると幸いです。

なお、最初に外語コミュニティー上に募金案内が発表され、その後、しばらくして外語ブログに募金案内書が掲載され、一部の方に混乱を招いたことを深くお詫び申し上げます。また、皆様方からの疑問、質問に正確にお答えするため11月15日の委員会第3回目の会合まで待たなくてはならず、皆様方のご質問に対しまして、当委員会から説明が遅れましたこと合わせてお詫び申し上げます。

以下、皆様から寄せられた何点かのご質問のうち、この場をお借りして、委員会としての考えを申し上げます。

1) 記念碑設置の資金について

記念碑設置委員会では、有志として関係者個人、団体から広く募金活動を行ってまいります。(記念碑委員会要綱はすでに当コミュニティー上で11月19日にお知らせしましたように、外語記念碑ブログ【以降、きねんひブログ】に掲載いたします) 外語記念碑設置はあくまで、関係者の有志の募金により設置いたします。おかげ様で10月に募金活動を開始して以来、すでに10万円を超える募金をいただいております。募金金額の状況はきねんひブログで公表することにしていきます。ただ、α0GB会が資金援助をするかしないかの決定過程はα0GB会のものであり、記念碑設置委員会から物を申し上げる立場にはありません。

2) α0GB会が何故会計監査を行うのでしょうか？

記念碑設置の活動は、2008年3月のα OGB 総会において、外語 OGB 有志の活動の一環として正式承認されたものであり、会計監査をα OGB 会に実施いただくことは自明の理と考えております。そのほかに適切な第三者機関が見当たりませんので、お願いする次第です。

3) なぜ横浜国際高校に設置するのでしょうか？

案内書にもご報告しましたが、旧外語高校跡地の処理は、県教育委員会管理の手から離れる可能性がかなり高く、第三者の管理することになる場所に外語卒業生有志からの寄付を行うことは実質的に不可能であり、断念せざるを得ませんでした。

また、外語高校は現在正式手続きを踏んで横浜国際高校に再編統合されており、横浜国際高校側も記念碑を寄付として受ける意思が明確にあることを、ご理解いただきたいと思ひます。(後ほど、きねんひブログに県教育委員会訪問報告書を掲載します)

4) 記念碑は一部 OGB のノスタルジーで活動しているのではないのでしょうか？

本提案は、2008年3月の代表幹事総会において、賛成票 29/32 の大多数の賛同を得ており、幅広い年齢層の卒業生から支持を受けていると考えます。因みに、現在記念碑設置委員会メンバーの構成員は次のようになっております。3期：1名、4期：2名、6期：1名、9期：2名、11期：2名、35期：2名、アドバイザー：旧外語高校恩師1名となっています。

11期以降の方で活動にご協力いただける方は、ご参加をお待ちいたします。そのほかの期の方も大歓迎です。

5) なぜ書面による呼びかけではないのでしょうか？

卒業生全員に書面による呼びかけができれば理想ですが、その手間、費用を考えると現在の設置委員会メンバーのキャパを超えてしまいます。外語ガゼットも電子メールによる方法に切り替わりましたので、この方法が最も合理的と考えました。一部の方には届いてない、また、ガゼットをご覧になってない卒業生もいると思ひますが、そのような方をご存知の方には、当募金活動をお知らせいただけませんか。

6) 募金の期限および見積もり内容

2009年2月6日の期限は、あくまで目標です。所定の募金額がそれより、早く集まればそこで停止しますし、場合によってはその期限を延長することもあり得ます。設置

金額予算に関しては、きねんひブログに掲載し、今後は予算内容、募金状況などはそちらでお知らせする予定であります。なお、記念碑設置後、募金が残った場合は全額αOGB会に寄付することとなっております。

以上、活動の趣旨をよくご理解いただき、多くの方にご賛同をいただき募金のご協力をいただきましたらまことにありがたく存じます。

改めまして卒業生皆様方のご理解、ご支援を心よりお願い申し上げます。

きねんひブログはこちらです。（これから順次内容を充実させていく予定です。）

<http://ameblo.jp/gaigo-monument2009/>

■お問い合わせ・連絡先：gaigo.monument@gmail.com

※いただいたご意見・お問い合わせは委員会内で真摯に検討いたします。

回答までにお時間をいただくことがございますが、何卒ご理解ご了承のほどいただけましたら幸いです。

（外語記念碑設置委員会 副委員長 木村道代）